



2021年9月17日

各位

上場会社名 J S R株式会社
代表者 代表取締役 CEO エリック ジョンソン
(コード番号 4185)
問い合わせ責任者 広報部長 武田 佳子
(TEL 03-6218-3517/080-3097-0514)

Inpria Corporation の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

JSR 株式会社（CEO Eric Johnson、以下「JSR」）は、米国の次世代 EUV 用メタルレジストメーカーである Inpria Corporation（米国オレゴン州、CEO：Andrew Grenville、以下「Inpria」）の 79%¹分の株式を追加取得し、当社の子会社とすること（以下、「本買収」）について合意し、本日契約を締結しましたので、お知らせいたします。これにより、2017 年と 2020 年に取得済の 21%分の株式と合わせて全株式を取得することになります。

本買収の実行は、規制当局の承認の取得などを前提としており、2021 年 10 月末までに完了することを予定しております。

1. 株式の取得の理由

当社グループは、グローバル市場での成長性が大きく、当社の強みである技術革新力をより発揮できるデジタルソリューション事業とライフサイエンス事業を成長のドライバーとして、事業拡大に注力しております。デジタルソリューション事業の中でも、特に半導体材料事業におきましては、技術力に裏打ちされた高付加価値製品に特化し、生産能力も増強してきました。主力であるフォトレジストは高い利益率を維持しながら市場拡大に合わせて拡販し、事業成長を実現しております。

現在、半導体製造に使用される最先端リソグラフィ工程においては、EUV 技術が量産適用されており、当社の EUV フォトレジストは高い信頼を獲得しています。今後の半導体製造においては、微細化が進み、EUV フォトレジストの使用量も増加することが予想されています。今後の半導体は、3nm、2nm 世代とよりと半導体が微細化するにつれて高解像度の EUV フォトレジストが必要とされ、その達成に向けた有望な素材として、メタルレジストに高い期待が持たれています。

Inpria は、2007 年の設立以来、メタル EUV レジストの開発に取り組んでおり、主要製品であるスズ酸化物を主成分とするメタルレジストは、EUV 露光系で世界最高性能の限界解像度を達成しています。さらに、従来のレジストに比べドライエッチング時のパターン転写性能が高く半導体の量産プロセスに対しても優れた適正を有しています。

本買収の完了によって、当社の強みであるフォトレジストの製品ポートフォリオに有力な将来技術で

¹ オプション及びワラントの行使等による変動が生じる可能性があります。

あるメタルレジストを加え、顧客の更なる微細化技術を支える先端材料企業として、シームレスに価値を提供してまいります。

2. 本買収の方法

本買収は、当社が本買収のために米国デラウェア州に設立した特別目的子会社（以下、「SPC」）を Inpria と合併させる手法²により行い、合併後の存続会社は Inpria となります。Inpria の株主は既存の Inpria の株式が消却される代わりに当社から対価として現金を受領する権利を取得します。SPC の株式は合併の効果により、Inpria の株式に転換され、結果 Inpria は当社の完全子会社となります。

今回、JSR と Inpria は、Inpria の事業価値について 514 百万米ドル（約 56,540 百万円³）で合意しました。これは、Inpria の将来収益力に基づく DCF 法や類似企業比較法にて当社が総合的に評価した算定結果のレンジに含まれています。

3. 異動する子会社（Inpria）の概要

(1)	名 称	Inpria Corporation		
(2)	所 在 地	1100 NE Circle Blvd., Suite 360 Corvallis, Oregon 97330		
(3)	代表者の役職・氏名	Andrew Grenville, CEO		
(4)	事 業 内 容	EUV 用メタルレジストの開発・製造		
(5)	資 本 金	74,224 千米ドル（2021 年 6 月 30 日現在）		
(6)	設 立 年	2007 年		
(7)	大株主及び持株比率 (2021 年 7 月 12 日現在)	JSR 株式会社 21.3%		
(8)	当社と当該会社 との間の関係	資本関係	当社は Inpria に戦略的株式投資（21%）を行っています。	
		人的関係	当社子会社の取締役 1 名が Inpria の社外取締役に就任しています。	
		取引関係	記載すべき事項はありません	
(9)	当該会社の最近 3 年間の連結経営成績			
	決算期	2018 年 12 月期	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期
	純 資 産	11,250 千米ドル	▲523 千米ドル	16,038 千米ドル
	総 資 産	11,850 千米ドル	10,443 千米ドル	18,993 千米ドル
	売 上 高	-	213 千米ドル	232 千米ドル
	営 業 利 益	▲10,434 千米ドル	▲11,971 千米ドル	▲12,461 千米ドル
	純 損 失	▲10,246 千米ドル	▲12,035 千米ドル	▲12,250 千米ドル

(注 1) その他の株主については守秘義務の関係で 非開示とさせていただきます。

² Inpria を存続会社、SPC を消滅会社とする「逆三角合併」方式

³ 1 米ドル = 110 円として換算

4. 日程（すべて日本時間）

(1) 決議日	2021年9月17日
(2) 契約締結日	2021年9月17日
(3) 買収実行日	2021年10月（予定）

（注2）取締役会決議に基づく CEO 一任による決議

5. 今後の見通し

本買収が成立した後に、当社の連結子会社となります。これに伴う連結業績に与える影響については本買収の進捗状況に応じ、速やかに開示します。

（参考）

2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	318,000	1.9	43,000	13.5	43,000	25.6	30,000	-	27,000	-	125.64

（参考）税引前利益 通期 42,500百万円

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上